



1

1 立面図…正面から見た図 平面図…真上から見た図

体積・表面積に関する公式

角柱・円柱

(体積) = (底面積) × (高さ)

(表面積) = (底面積) × 2 + (側面積)

角すい・円すいの体積

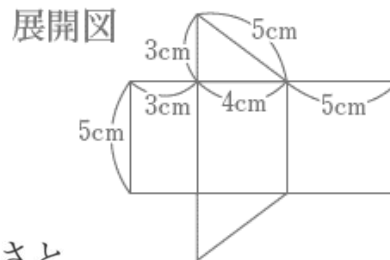
$\frac{1}{3} \times (\text{底面積}) \times (\text{高さ})$

球の体積・表面積
(半径を r とする。)

(体積) = $\frac{4}{3} \pi r^3$

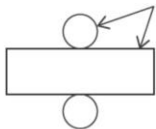
(表面積) = $4 \pi r^2$

2 底面は三角形, $\times \frac{1}{2}$ 忘れに注意。



展開図

3



円の円周の長さと
側面の長方形の
横の長さは等しい

4 底面は正方形, $\times \frac{1}{3}$ 忘れに注意。

5 $\times \pi$ 忘れに注意。

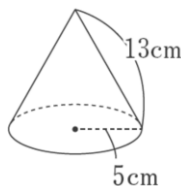
6 底面は円, $\times \frac{1}{3}$ 忘れに注意。

7



おうぎ形の弧の長さと
底面の円の円周の長さは
等しい。

8 回転させると の円すいになる。



おうぎ形の弧の長さを l ,
半径を r とすると, 面積 S は,

$$S = \frac{1}{2} l r$$

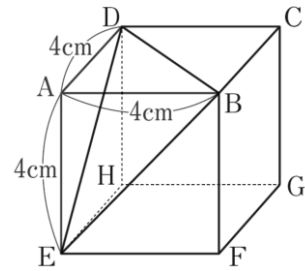
9 (1) 90° に交わる辺を探す。

(2) ねじれの位置…平行でなく, 延長しても交わらない。

10 (1) ねじれの位置…平行でなく，延長しても交わらない。

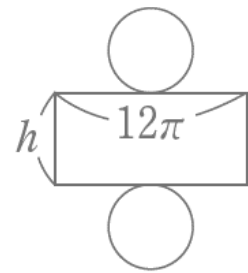
(2) 一辺の長さが 4 cm の正方形が 6 つある。

(3) (立方体) - (三角すい E - ABD)

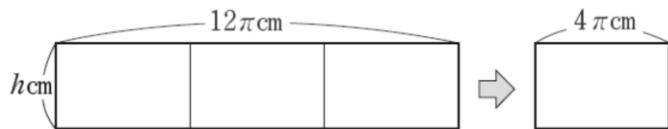


11 (1) (円周の長さ) = $2\pi \times$ (半径)

(2) 表面積は半径が 6 cm の円が 2 つと縦が h cm，横が 12π cm の長方形の和である。



(3) 円柱 Q の底面の円周の長さは，
 $12\pi \div 3 = 4\pi$ (cm)
 つまり，
 半径は $4\pi \div 2\pi = 2$ (cm)
 である。



12 (1) 正四面体の面は正三角形

(2) 辺アイと辺カオが重なる。

(3) (1つの面の面積) = (長方形の面積) \div 4

13 (1) 容器の形は円すいである。

(2) 円柱の体積は，高さ，底面積が等しい円すいの体積の 3 倍である。